



川崎市議会の今がわかる 3月号

高津区版

川崎市議会議員

かすや葉子の

市政 119 番！

デリバリー方式で 中学校給食の導入を

昨今の厳しい社会情勢から、働く女性の社会進出や共稼ぎ世帯が増加し、中学校における学校給食が急速に望まれてきています。また、実際に、昼食が食べられない欠食状態の児童がいることも事実です。このことから、私どもの代表質問において、学校給食の可能性を探りました。

試算の結果、現在、五十一校ある公立中学校において、給食室を設置し調理する自校方式では、初期投資とランニングコストで、約六十七億円と試算されました。また、一ヶ所の施設で数校分を調理し配送するセンター方式では、七校で初期投資百二十二億円となりランニングコストは年間十九億六千万円が必要と試算されました。それらと比較を行いますと、外部調理委託業者が調理した弁当を各学校へ届けるデリバリー方式では、ランニングコストで約六億六千万円と試算されました。一般会計予算六千八百八十億円の本市においては、決して実現できない金額ではないと思います。現在では、大阪府や相模原市でも、家庭の愛情弁当との選択制が図れるデリバリー給食の導入を決定しました。神奈川県では、七市で実施されています。愛情弁当と学校給食が選択できる中学校給食は、総合的子育て支援や食育の面からも期待できるものです。今後は、実態調査やニーズの把握を行って、デリバリー式中学校給食の導入をめざして参ります。ご意見・ご要望を、私、川崎市議会議員かすや葉子までお寄せ下さい。

ひとこと 子宮頸がんワクチンの落とし穴

子宮頸がんワクチンは、十二才から一六才までの女子が、無償で受けられる任意摂取のワクチンです。現在は、一社しか許可されていないので、ワクチン不足にありますし、発生誘引となる十五種類のウイルスのうち、二種類のウイルスにしか効きません。「ワクチンを摂取したから大丈夫」ということはありませんので、継続的な検診をお勧めします。



粕谷 葉子のプロフィール

1956年6月7日生れ

略歴：1977年、日本体育大学

女子短期大学・体育科卒業

中学校教諭保健体育2級免許取得

(株)ウォーテック約15年間勤務

代議士秘書(松沢成文前県知事)

川崎市議会議員3期

現在、総務委員会委員

市議団政策調査会長及び副団長

神奈川県水道企業事業団委員長

宅地建物取引業北支部顧問

神奈川県少林寺拳法理事

高津区親睦ソフトボール顧問

川崎市パークゴルフ連盟顧問他

動物と遊ぶ・温泉・スキューバ・スキ

代表質問項目（市政一般について）

- 地方分権改革と財源について
- 「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画案と新たな行財政改革プラン案について
- 4つの化について
- 理科支援員等配置事業について
- 新川崎「創造のもり地区」の現状と今後の取り組みについて
- 等々力緑地再編整備について
- 総合交通体系の政策について
- 京浜急行大師線連続立体交差事業について
- 首都高速料金値下げについて
- 雇用・就業支援対策について
- 保育所の管理運営の移管など区役所の機能強化について
- 保育・子育て支援施策について
- 障がい者施策について
- 幸区役所庁舎整備基本計画素案について
- 中学校給食について
- 入札制度改革全般について
- 生田緑地整備について
- 川崎駅周辺地区及び北口改札口再開について
- 国際コンテナ戦略港湾について
- 商業振興策について
- 高齢者施策について
- 救急医療体制の充実について



国へ子ども手当での緊急意見書提出

要旨

現在、与野党の対立構造から、時限立法である子ども手当法案の成立の目途が立っていないが、児童手当がなくなった中で、来年度は子ども手当が支給されず負担が大きくなるのしかかることになる。

また、児童手当を復活するような事態となれば、支給事務を行う市町村にとって、膨大な費用と労力を費やしてシステム改修の必要性や6月の支給ができないことが指摘されている。市町村が児童手当の支給に必要な所得データを把握していないことによる混乱は避けられない状況に陥る。

また、児童手当が復活することになれば、中学生への支給はなくなり、小学生以下の支給も減額となり、所得制限により受給できなくなるケースも生じる。

さらには、年少扶養控除の廃止による増税で、負担増となる世帯もあり子育て世帯には多大な影響を与えるものである。

こうした中、政府は現行の子ども手当法を6ヶ月程度延長する「つなぎ法案」を提出する方針を固めたと報道されている。

平成23年度以降の子ども手当が滞りなく支給されるよう、速やかに関係法案が成立されることを強く申し入れするものである。

3月10日に、国に意見書の提出を行ってきました。

**災害被害に遭われた方・助けるために命を落とされた方に
心からのお悔やみを申し上げます。**

